



春のお彼岸のご案内

平成二十五年 第二号 春彼岸発行

お彼岸の由来

お彼岸は、私たちの心が清らかにして、日頃の悩み、苦しみの世界から理想の世界に立ち返らせていただく、大切な機会です。

私共は、仏様の慈悲のもと、ご先祖様守護のもと、父母のご恩、そして、諸所の人々の縁に支えられて暮らしております。そんな皆様の為にご恩返しできる、尊い歩みが出来るような人になりたい、という願いが込められる一週間が彼岸です。

彼岸は、向こう岸、迷い、煩悩の世界から河を渡り、悟りへの世界を目指す日です。私共は、常日頃、一生懸命仕事をし、家庭を守り、忙しい日々を過ごしております。せめて、春秋の一週間、自分を見つめ、反省し、感謝し、仏道修行を致しましょう。これを六波羅蜜（ろくはらみつ）といいます。

六波羅蜜とは、

布施（ふせ）

施しをする、ボランティアの原点

奉仕をする事

持戒（じかい）

あらゆる生き物を大切にすること

忍辱（にんにく）

耐え忍ぶ事

精進（しょうじん）

努力すること

禅定（ぜんじょう）

心を静に保つ事

智慧（ちえ）

勉強し知識を高める努力をする事

自然をたたえ、生物をいつくしみ、人々を愛し、先祖を敬い、亡くなられた人々を偲び、感謝の気持ちでお墓参りをしたいものです。

彼岸会法要

三月二十日（水）お中日

十一時より

参加費（お布施）五千元

皆様お揃いで是非ご参加下さい。
（記念品を用意しております。
お楽しみにして下さい）

お彼岸入り 三月 十七日（日）

お彼岸中日 三月 二十日（水）

お彼岸明け 三月 二十三日（土）

お彼岸のお塔婆はお早めに

お申し込み下さい。



涅槃会

涅槃会とは、お釈迦様の入滅（亡くなられた）された二月十五日です。

お釈迦様の伝道は、北インドのガンジス河を中心に、四十五年間の永きにわたりました。八十歳となられたお釈迦様は、阿難（アーナンダ）と数名の弟子をともなつて、王舎城（ラージャグリハ）からクシナガラへと、伝道の旅をなさるのです。自らの入滅を予想され、生まれ故郷のカピラ城へ向かわれたようです。重病にもかかわらず、弟子達の助けをかりつつ、お釈迦様はさらに歩みを進められるのです。カククッタ―河で沐浴され、疲れを癒やされた後、ビハール州クシナガラ（サ―ラ樹林（沙羅双樹））にたどりつかれます。お釈迦様は、身を横たえられたまま、集まった人々を前にして最後の説法をなされます。よく戒めを守り、五欲を慎み、静寂を求めて努力をし、定を修して悟りの知恵を得るべきことを示されるのです。そして、静かに如来としての永遠の涅槃に入られるのです。阿難をはじめ弟子達の嘆きは、想像を絶するほど深いものであったでしょう。

涅槃図には、真白い花をつけたサ―ラ樹の下で、お釈迦様は、頭を北に顔を西に向け、右手を枕にして横臥し、周囲には十大弟子をはじめ、老若男女、鳥獣達さえも嘆き悲しみ、百獣の王である獅子までが、仰向けになって慟哭している様子が描かれています。図の右上には、とおい天からかけつきたお釈迦様の母君、マヤ夫人が描かれています。



釈迦涅槃図

法然上人涅槃図

一月二十五日は法然上人の御命日です。「御忌」の法要が行われますが、本山では四月に厳修されます。

法然上人が入滅の時の絵が「法然上人涅槃図」です。法然上人は、大勢の弟子にかこまれ、墨染めの衣にて合掌なされ、南無阿弥陀仏のお念仏を唱えられながら念仏往生されました。



法然上人涅槃図

修正会報告

一月三日、多数の檀信徒各位のご参加の元、平成二十五年
度修正会が厳修されました。
当日は、国家安泰・先祖代々・家内安全、無病息災等をお祈
りし、絵馬に諸願成就を書き、奉納いたしました。
清宴では、衆議院議員鴨下一郎先生にも新年のご挨拶をいた
だき、寄席文字、柳家我太楼師匠の司会進行のビンゴゲーム
でお楽しみいただきました。
来年度の修正会も多数の皆様のご参加をお待ちしております。
今年度参加された方々の御芳名です（順不同）



ミャンマー(ビルマ)仏教遺跡と

日本人戦没者慰霊法要

二月上旬、ミャンマー日本人戦没者慰霊法要に行つて参りました。
慰霊碑等で法要、日本人戦没者をお守りいただいております寺院での法要等でした。まだまだ遺骨収集はこれからがスタートのことでした。
ミャンマーは、とても熱心な仏教国です。数多くの仏塔にはお参りの方で賑わつておりました。
映画「ビルマの豎琴」の舞台となつたところです。



供物塔



ミャンマー仏塔



客殿の豎琴と仏足跡の砂絵



ミャンマーの各寺院・仏塔にて

篆刻(てんこく)額奉納

蓮見の会、落語会にご参加いただいたいております、高田純一郎先生より、篆刻額のご奉納をいただきました。

高田先生は、数多の篆刻の作品を発表されておられる著名なお方です。仏様の御縁にて、先生の作品を拝受いたしました。客殿にかかげさせていただきました。お寺におこしの際は、是非ご覧下さい。



境内の花

今年も、境内では紅白の梅や水仙が咲き始めました、これからの季節は多くの花が咲きます、お寺にお越しの際は、季節の花も御覧下さい。



花まつり

四月八日（月）は、お釈迦様がお生まれになられた誕生日です。各お寺で、灌仏会が開催されます。お釈迦様の誕生をお祝いし、誕生仏に甘茶をかけにお願い下さい。本堂前（御拝）に花見堂が出ております。お参りいただいた方に「甘茶のテーバック」をさし上げます。

日時 四月八日（月）

十時より4時まで

場所 実性寺 本堂前



実性寺寄席

四月七日（日）「花まつり」にあわせ、「第十三回実性寺寄席」を開催いたします。

第十三回実性寺寄席

四月七日（日）

開場 五時半

開演 六時

木戸銭 六百元



☆ ご法要等のお塔婆を建立される方は、遅くても十日前までに
お申し込み下さい。
お電話よりファックスの方が正確でございますのでご利用下さい。

ファックス番号

03(3883) 3227

振替口座

00190161258873

振込用紙をご入用の方はお申し出下さい。

〒121-0061

東京都足立区花畑三十七ー十八
電話 03(3883) 8866

浄土宗 実性寺